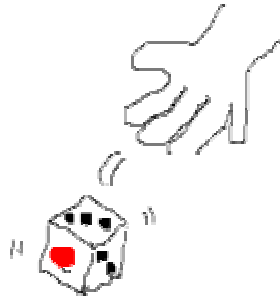


# 鑄物 言葉



文/NIT・新山英輔  
画/IJS・内田敏夫

## [キャスト cast]

これはさまざまな場面でいろいろの意味で使われる言葉です。基本的には「投げる」という意味で、何を投げるかという、サイコロ、投網、釣糸(釣りでキャストイングといいますね)、錨、殻(蛇が殻を脱ぎすてる)、などの物体から、光、影、視線、選挙の票、などのやや抽象的なものも cast されます(casting vote は可否同数の決定票)。人を牢屋に追い込むのも cast だし、見捨てるのは cast away です。芝居の役を割り当てるのも cast です(いわゆるキャスト=配役)。占星術などで計算・推量する作業も cast で、これから forecast=予測となり、したがって天気予報は weather forecast です。舟の進路を変えるのも cast で、おそらくこれから転じて台車の進路を変えるための車輪を caster というのでしょうか(キャスト付き台車、など)。Caster のもうひとつの意味は薬味入れ(塩や胡椒を振り出す)です。この場合は振出す動作が cast になるのでしょうか。

楽天の仙台球場の名前は fullcast stadium です。これは楽天の関連の人材会社「フルキャスト」からとった名前らしく、したがって人材、配役の意味のキャストのようです。JT のタバコの名前も caster ですが、これについてはインターネットで探した結果、「Fate/stay night というゲームの登場キャラクター、聖杯戦争で召還される 7 人のサーバントの 1 人、魔女」という由来の説明を見つけました。

こうしてみると cast というのは実に応用範囲の広いコトバであることにおどろきます。だから溶融金属を型に cast するのは何も特別の操作ではなくて、こういういろいろの cast のひとつに過ぎないのだ... とわかり、なんだかありがたみが減るような気がしますね。そこへゆくと日本語で「鑄造」といえば金属の鑄造に決まっている。これは漢字という精密な道具を取り入れた日本語のいいところでもあり、反面、日本の学術用語は簡単なことを難しそうにいうと非難される点でもあります。

ところで「ダイ die」の項で「The die is cast.」というのが出てきましたが、これはもちろん「型は鑄造される」ではなくて、「サイは投げられた」と訳します(もうあとには戻れない、の意)。この cast は過去分詞です。Cast は不規則動詞で変化形は cast, cast, cast ですから、鑄物の英語論文で casted なんて決して書かないようにしましょうね。

なおインドにカースト制度というのがありますが、これは caste と書き、語源も cast や casting と関係ありません。